

令和7年度 第2回理事会議事録

日時：令和7年7月22日（火）：19：00～

場所：Zoom（オンライン）

参加者：理事：磯野、高村、小林、有泉、大西、平賀、鮎川、渡邊、古屋、菊池、鈴木、上田、山下

部長：丸茂、小林

慶事：0件 弔事：1件

施設数：183施設

会員数：926人 【施設会員879人（入会手続き中3人含む）/在宅会員47人】

休会員数：213人（7月21日現在）23.0%

【審議事項】

1. リハマップの発送と今後の管理について：士会支部局
2. 2025年度第3回学術研修会事業報告について：学術局
3. 研修会開催における感染対策指針の改定案について：感染症対策委員会
4. 令和7年度 一般社団法人 理学療法士交流会の開催について：事務管理局総務
5. こども福祉部研修会の参加対象者の拡大と口座振込による参加費徴収方法の追加について：こども福祉部追加
6. 承認セミナーについて：学術局
7. キャンセルポリシーについて：学術局

【報告事項】

1. 「介護予防推進・健康増進キャンペーン」、「士会X投稿」について：事務管理局広報
2. 「令和7年度 健康安全運動講座」について：業務推進局
3. 令和7年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 第1回災害対策支援委員会報告：災害体躯委員会
4. 「山梨県産業保健総合支援センター」での活動について：事務管理局

【事務管理局より】

- ・理事会の審議・報告書式について、書式が違っている部局があります。フォルダの書式をダウンロードしてから作成をお願いします。

【 審 議 】

案件番号 2025-支-01

提出者	平賀篤	部局名	士会支部局
議 題	リハマップの発送と今後の管理について		
内 容 および 提出趣旨	士会支部の 2024 年度事業として作成したリハマップを 6 月下旬に各施設に発送しました。各先生方にご確認いただいたところ数件の訂正情報をいただきました。以下の対応を考えております。 ①7 月中を目途に訂正箇所の情報集約を行う ②HP とメーリングにてリハマップの訂正文を周知する ③修正済みの PDF 版を HP 上にアップする 上記対応でよろしいか、ならびに HP 上の電子版アップ（掲載箇所含む）の可否についてご審議をお願いいたします。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	発刊までのチェック機構が甘く大変ご迷惑をおかけいたしました。次回発刊時にはチェックの目になるべく多くなるように計画いたします。 また情報の修正について、電子版は人数等の大規模な修正は 1 回/1～2 年、印刷版は数年後の第 2 版を考えております。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	基本的なところに限り情報の修正を受け付ける。 HP については「リハマップはこちら」を重要なお知らせでリンクを貼る方法で行っていく。 年度末に情報の更新については、施設にアナウンスをし、変更のあるなしを確認する。		
審議結果	審議 (<u>終了</u>) ・ 継続 ・ 保留 ・ 付託)		賛否 (<u>賛成</u>) 反対)
	承認		
	対応部局または理事氏名		
	処理期間	平成 年 月 日 頃	
	次回再検討予定	第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議	
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)	B (<u>会 員</u>)	C (一 般)

【 審 議 】

案件番号 2025-

提出者	小林 裕司	部局名	学術研修部
議 題	2025 年度第 3 回学術研修会事業報告について		
内 容 および 提出趣旨	第 3 回学術研修会 日程：2025 年 10 月 26 日(日) 10 時～16 時（休憩 1 時間を含む） 会場：健康科学大学（対面開催） 講師：山本 泰三先生（株式会社スターティングアゲイン 代表取締役） テーマ： 片麻痺の基礎を再考し、バランス障害を含めた残存能力を探る評価と発揮させる手法 カリキュラムコード：区分 5-65 平衡機能障害 研修会参加人数：40 名程度 受講費用：県内会員 1000 円、県外・非会員 2000 円、学生無料		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	2025 年度第 3 回学術研修会是对面開催にて行う。講師に株式会社スターティングアゲイン代表取締役 山本泰三先生を招聘し「片麻痺の基礎を再考し、バランス障害を含めた残存能力を探る評価と発揮させる手法」というテーマでご講義をいただく。山本先生は、レッドコードの Certified Neurac practitioner 称号を取得し、レッドコードのスタビリティ研究会の代表を務められ、多数の研修会開催、臨床経験を有されている。今回、片麻痺患者のバランス障害に対して、その評価方法と理学療法についてご教授いただく。対面による開催にて実技指導を主に行っていただき、日々の臨床業務に繋がる研修会となると考える。なお、参加費用及び運営方法は開催規定を踏襲する。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	特になし		
結果	承認		
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（ ☒ 一般）

提出者	雨宮 直樹	部局名	感染症対策委員会
議 題	研修会開催における感染対策指針の改定案について		
内 容 および 提出趣旨	拡大理事会の議題にて感染症対策の基本方針の改定要望を頂いた。 以下の通り改定案を作成したため、理事会にてご査収いただき、今後の運用につなげて頂きたい。改定の主旨については以下の通り。 1. 法的緩和と専門職責任の調和： COVID-19 の 5 類移行は法的規制の緩和を意味するが、理学療法士という医療従事者としての専門的責任と公衆衛生への貢献という観点から、自主的かつ積極的な感染対策の継続が不可欠という原則に基づき作成。 2. 平時と流行期の明確な区別： 感染状況に応じて対策を柔軟に調整できるよう、平時における「基本対策」と、感染症流行期における「強化対策」を明確に区別。 3. 多種多様な感染症対策を網羅： COVID 19 に特化した対策からインフルエンザ、感染性胃腸炎、RS ウイルスなど、理学療法士の活動において遭遇する主要な感染症全般に対応できる汎用的なマニュアルとして再構築。 4. 根拠に基づく判断基準の統一： 山梨県が公表する感染症発生動向調査のデータ（定点当たり報告数）を主要な指標とし、客観的かつ実態に即した流行期の判断基準を提案。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	上記の通り、指針（案）について提案させて頂きました。各部局の研修会の開催予定も進んでおりますので、できるだけ早期に対策指針が運用開始できるよう、ご意見をよろしくお願いします。 なお、今後も感染状況やご要望に応じて対策指針もブラッシュアップさせていただきますので引き続き、ご意見・ご協力をよろしくお願い致します。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	使用してきながら、変更点を共有していく		
結果	承認		
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）

【 審 議 】

案件番号 2025- -

提出者	藤原大輔	部局名	事務管理局 総務部
議 題	令和7年度 一般社団法人 理学療法士交流会の開催について		
内 容 および 提出趣旨	令和7年度の事業計画に沿って、今年度交流会を以下の通り開催していく。 1. 日 時：令和7年8月22日（金） 19時～21時（18時30分受付開始） 2. 場 所：ベルクラシック甲府 山梨県甲府市丸の内1-1-17 3. 参加費：一般会員8,000円、新人会員6,000円 *施設ごとまとめてのお支払い 4. 来 賓：一般社団法人 山梨県作業療法士会 三役 一般社団法人 山梨県言語聴覚士会 三役 5. 申込み：会員 QRコード、来賓 事務局へメール（締切：8月11日） 6. 食 事：buffet形式の立食、飲み放題		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	・ 前回の開催は令和1年度、今回に久しぶりの交流会の開催になります。 ・ 物価高の景況か、一般会員の参加費が前回6500円から、今回8000円となっております。 参加費を確認して会員が積極的に参加していただけるかどうか、人数の見通しが難しいが最大200名を予定している。 ・ 新人会員は、予算より一人2000円補填し、6,000円の参加費とします。2,000円×50名＝100,000円程度の予算は計上済み。 ・ 施設紹介は、前回同様に各施設の希望制にする。 上記内容につきまして、ご審議お願い致します。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	新人については、今年度の新入会員を対象とする。 8000円は高いのではないのと意見があり、料理を減らしでも金額を下げられないか、再度検討する。		
審議結果	審議（終了・ <u>継続</u> ・保留・付託）		賛否（賛成 反対）
	開催日時は承認。金額については、ベルクラに確認して、LINEWORKSで意見を募っていく。		
	対応部局または理事氏名		
	処理期間	平成 年 月 日 頃	
	次回再検討予定	第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議	
公開度	A（部長・委員長・代議員）		B（会 員） C（一 般）

【 審 議 】 案件番号 2025- -

提出者	高村裕子、長田綾太	部局名	こども福祉部
議 題	こども福祉部研修会の参加対象者の拡大と口座振込による参加費徴収方法の追加について		
内 容 および 提出趣旨	こども福祉部の研修会では、参加費徴収の難しさから当初は協会 HP からの申し込みによる協会のクレジットカード払いが可能な協会員のみを参加対象者としていたが、今回口座振込による徴収も可能となった。 そのため、参加費徴収を福祉保険局の通帳による口座振込も設定し、参加対象者を協会員に限らず「どなたでも参加可能」としたい。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	参加対象者の制限をなくすことで参加者増が見込まれる。 併せて、「協会クレジットカード、口座振込」と支払いの選択肢も増えるので参加費収入増も期待できる。 福祉保険局の通帳を使用することで、入金者、金額等の管理も行いやすい。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	振り込み手数料については会員負担で行っていただく。		
審議結果	審議（ <u>終了</u> ・継続・保留・付託）		賛否（賛成 反対）
	承認		
	対応部局または理事氏名		
	処理期間	平成 年 月 日 頃	
	次回再検討予定	第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議	
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）

【 審 議 】

案件番号 2022- -

提出者	鮎川将之	部局名	学術局 研修管理部
議 題	承認セミナー開催について		
内 容 および 提出趣旨	・ 2025 年 7 月 31 日 17：30-18：30 ・ 講師：鮎川将之（山梨リハビリテーション病院） ・ テーマ：重症例に対する介入アイデア ・ 対象者：自施設 ・ カリキュラムコード：区分3 治療プログラム立案		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	・ 課内勉強会内容を承認セミナーとして承認していただきたい。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	特になし		
審議結果	審議（ <u>終了</u> ・継続・保留・付託）		賛否（賛成 反対）
	承認		
	対応部局または理事氏名		
	処理期間	平成 年 月 日 頃	
	次回再検討予定	第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議	
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）

【 審 議 】

案件番号 2022- -

提出者	鮎川将之	部局名	学術局 研修管理部
議 題	研修会キャンセルポリシーについて		
内 容 および 提出趣旨	・山梨県士会におけるキャンセルポリシーの定義が無いため、対応を検討したい。 ⇒今までは、理由によっては返金対応していた(送金分を差し引き) ・参考案としては、日本理学療法士協会の規定にならう ・日本理学療法士協会では 申し込み後は、承認・入金前後を問わず、いかなる事由においてもキャンセル・ご返金・ ご変更を承りかねます。また、受講の有無問わず、未納の場合は、新たな研修会への申し込みが制限されます。お申込み間違いに十分ご注意ください。となっている。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	・協会のキャンセルポリシーは厳しいが、事務局側はやりやすい。また、そうすると事前申し込みを受けるものは、現金払いを避ける必要がある。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など	協会のキャンセルポリシーを基に、士会の規約内にもキャンセルポリシーを作っていく。 規約の変更になるの次回理事会での審議としていく。		
審議結果	審議（ 終了・ <u>継続</u> ・ 保留 ・ 付託 ） 賛否（ 賛成 反対 ） 次回理事会での審議		
	対応部局または理事氏名	事務局	
	処理期間	平成 年 月 日 頃 次回再検討予定 第 <u>3</u> 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議	
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ） B（ 会 員 ） C（ 一 般 ）		

【 報 告 】

案件番号 2025 広-3

提出者	中込 亮	部局名	事務管理局広報部
議 題	① 「介護予防推進・健康増進キャンペーン」報告 ② 士会 X 投稿について		
内 容 および 提出趣旨	7 月 13 日（日）イオンモール甲府昭和店にて介護予防推進・健康増進キャンペーンを実施した。イベントスペースには介護相談コーナーと健康チェックを設置した。パンフレット及びグッズは 300 個配布、健康チェック参加者は 25 名、介護予防・健康に関する相談は 1 名であった。 またイベント内容は当士会の X にて情報公開した。		
	提出資料	無・有	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	日曜日の大型ショッピングモールで開催したことにより、家族連れも多く小児から高齢者まで幅広い年齢の方に参加して頂き盛況であった。昨年度に比べ、健康チェックや相談県果は少なかったが、今年度は配布した冊子に目を通す方々や学生の進路についての相談があり、理学療法士についての関心を持つ方が増えていると思われた。		
	提出資料	無・有	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	特になし		
結果			
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）

【 報 告 】 案件番号 2025-7

提出者	市川 普隆、古屋 伴仁	部局名	業務推進局 委託事業部
議 題	「令和 7 年度 健康安全運転講座」について		
内 容 および 提出趣旨	上記内容にて ダイハツ工業株式会社より、協力依頼を受け無事終了した。 日 時：甲府店 6 月 16 日（火）9 時～12 時 派遣士会員：甲府店 市川 普隆（白根徳州会病院）・堀内 聖也（赤坂台病院） 深沢 周（フルリーツむかわ）・古屋 伴仁（韮崎市立病院） 参加者：甲府店 17 名 内 容：身体測定（握力測定、片脚立位、5 回立ち上がりテスト） スライド講義 ＊ 次回、甲府店 10 月 7 日（火）、富士吉田店 9 月 11 日（木）		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見			
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	特になし		
結果			
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）

提出者	大野 了資	部局名	災害対策支援委員会
議 題	令和7年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 第1回災害対策支援委員会報告		
内 容 および 提出趣旨	日時：令和7年7月10日（木）19：00～19：40 WEB 開催 参加：PT 士会：井村、大野、中山、伊藤 OT 士会：磯野、吉田 ST 士会：赤池（洋）、中嶋、赤池（絢）、中込、矢萩 議題： ① 令和7年度予算報告 ② 令和7年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 災害対策支援委員会研修会 ③ 令和7年度地震防災訓練 ④ 令和7年度山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会研修会 ⑤ その他		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	・ 令和7年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会災害対策支援委員会研修会 今年度は対面で HUG（避難所運営ゲーム）研修会を10月の上旬で開催を検討している。講師は県の防災危機管理課に依頼する予定で、会場は県立中央病院多目的ホールで調整中。3士会を対象とし、新人でも参加しやすいようハードルを低くする目的もある。 ・ 令和7年度山梨県地震防災訓練について 令和7年度は11月23日（日）に甲州市（勝沼）での開催となります。第1回関係者会議が7月30日に開催されOT士会の磯野先生が参加予定です。 訓練当日は、例年通りJ R A Tの広報活動、要配慮者の移動方法の伝達、段ボールベッドや車椅子を使用した移乗動作方法の伝達を実施する予定です。 当日の参加予定者は、P T士会より、井村先生・大野・中山先生・伊藤先生、O T士会より磯野先生・吉田先生となっております。 ・ 山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会研修会について 令和7年11月6日（木）19:00より文学館で開催。講師は菊池尚久先生で「災害リハビリテーションと地域リハビリテーションのつながり」についてご講演いただく。 ・ その他 JIMTEF 研修について 井村先生がベーシックコースを受講中。S T士会は委員で該当者がいないため、会員向けに案内を出し、参加を募っている。 災害救助法における費用弁済の根拠確立について 災害救助法にリハビリテーション専門職の活動が明記され、被災時における費用弁済の根拠が確立された。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	特になし		
結果			
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）

提出者	雨宮直樹・山下浩樹		部局名	事務管理局
議 題	「山梨県産業保健総合支援センター」での活動について			
内 容 および 提出趣旨	今年度、山梨県産業保健総合支援センターより委託を受け、産業保健相談員として2名（雨宮直樹：県立中央病院、山下浩樹：甲州リハビリテーション病院）を士会からの推薦とし、4月より活動に参加した。産業保健相談員の選出については、メール配信とHPへ掲載し、県外のセラピストを含め7名の応募があり、三役にて選出した。 今年度の産業保健総合支援センターの相談員の活動として、行動災害防止対策の取り組みを支援することとなった。具体的な活動は、健康教育支援（体力チェックや腰痛予防等の講義など）と環境・作業動作支援（安全な環境の提案や動作支援など）を実際の事業所を概ね2回の訪問で支援する。 ・訪問支援 日 時：甲府店 7月8日（火）10時～11時30分 場 所：株式会社ちぼり葦崎工場 訪問者：産業保健相談員 雨宮直樹、山下浩樹 産業保健専門職 小川理恵 内 容：工場の担当者と現状のヒヤリングを実施。課題を共有し、次回の支援内容を確認。次回は8月下旬に、現場責任者とスタッフ向けに、腰痛予防の講義と体操を提供予定。午後2回同じ内容で実施し、参加者を増やす。 ＊ 9月に横河マニュファクチャリングへの支援予定（日程調整中）			
提出者の意見	提出資料	無	別紙 枚	資料番号等
	産業保健分野でのニーズに理学療法士として答えていく良い機会と考えている。また、今後、理学療法士の職域拡大としても重要な分野となる。 今後は、産業保健分野の研修会を検討し、士会員への情報提供の場を作っていく。			
主な意見内容 など				
結果				
公開度	A（部長・委員長・代議員）		B（会 員）	C（一 般）

その他：

- ・研修会の非会員の参加費について、会員との差について検討。非会員の参加費は、会員費を払っている会員と差をつけることに賛成。会員の参加費の最大5倍までを上限を10000円とする。
- ・関東甲信越ブロック理学療法士学会の寄付金について、施設責任者に一言依頼をかけていただきたい。